

## 【ご参考】 2022年3月期 決算短信 補足資料

### 1. 当期連結業績の概要

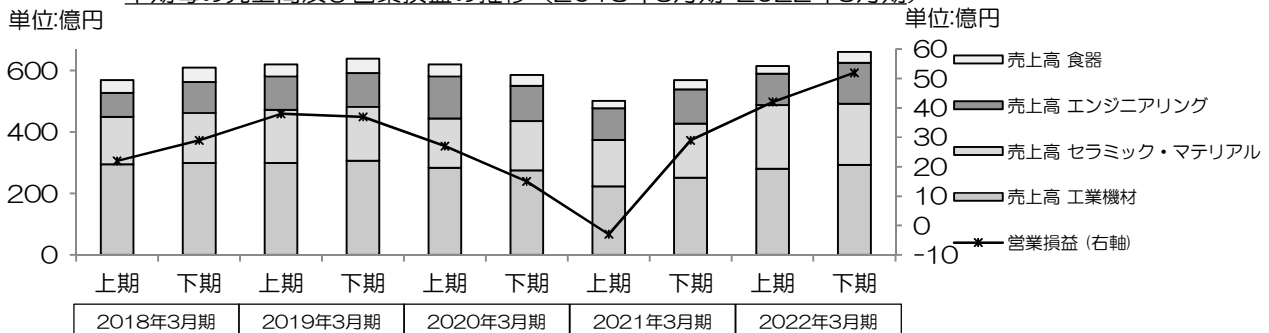
<b>【業績】</b>	
売上高	1,276億円（前期比 206億円増収）
	US\$3.94円の円安、EUR 8.37円の円安により、売上高 9.6億円増加
営業利益	94億円（前期比 68億円増益） 経常利益 125億円（前期比 80億円増益）
親会社株主に帰属する当期純利益	91億円（前期比 63億円増益）
<b>【連結の範囲】</b>	
連結会社	23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
<b>【特別損益】</b>	
特別利益	1.4億円：投資有価証券売却益 1.2億円、固定資産売却益 0.2億円
特別損失	11.6億円：固定資産処分損 8.7億円、地中埋設物処理費用 2.9億円等
<b>【期末配当金】</b>	
期末配当	80円/株（年間 150円/株）（前期年間 60円/株）

#### (1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	
売上高	工業機材	594	606	558	474	573	100
	セラミック・マテリアル	317	348	322	328	407	80
	エンジニアリング	180	219	251	214	236	21
	食器	88	85	75	54	60	6
		1,179	1,258	1,206	1,070	1,276	206
営業利益	工業機材	17.4	23.2	0.9	△ 12.3	30.6	42.8
	セラミック・マテリアル	26.5	36.9	22.2	31.0	54.2	23.2
	エンジニアリング	15.2	22.5	27.8	20.0	20.5	0.6
	食器	△ 8.2	△ 7.7	△ 8.9	△ 13.1	△ 11.8	1.4
		51.0	74.8	42.1	25.6	93.5	68.0
(売上高営業利益率)		(4.3%)	(5.9%)	(3.5%)	(2.4%)	(7.3%)	-
経常利益		69.9	97.6	63.1	44.8	125.1	80.3
特別利益		107.8	28.4	1.3	1.8	1.4	△ 0.4
特別損失		15.8	2.8	14.7	5.7	11.6	6.0
親会社株主に帰属する当期純利益		134.3	97.1	34.2	28.1	90.7	62.6
1株当たり当期純利益		935.57円	675.77円	237.22円	194.54円	628.27円	-
1株当たり純資産		6,941.38円	7,219.82円	6,986.33円	7,684.78円	8,183.66円	-
US\$ 為替レート		112.0円	110.4円	109.2円	106.4円	110.4円	-

半期毎の売上高及び営業損益の推移（2018年3月期-2022年3月期）



## (2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2021年3月期		2022年3月期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	16	22	16	20
セラミック・マテリアル	17	14	16	15
エンジニアリング	3	2	4	2
食器	5	3	3	3
管理部門	5	7	10	7
合計	46	48	49	47

## (3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	対前期比
有利子負債*	131	48	51	79	65	△ 14
現金及び預金	185	141	126	123	142	19
ネット有利子負債	△ 54	△ 93	△ 75	△ 44	△ 77	△ 33

\* 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

## 2. 2023年3月期の計画

## (1) 重点施策

長期ビジョン（ありたい姿）「マテリアル×プロセスの独自技術で変化する社会の欠かせない推進役へ」を実現するため、今後の成長が期待される「環境・エレクトロニクス・ウェルビーイング」を成長領域と定めて「選択と集中」を進めます。また、第12次中期経営計画は、「収益基盤の強化と成長領域への仕込み」の期間と位置付け、不採算商品・事業の再編、収益改善・合理化、増産・拡販への対応、経営基盤の強化を進めます。

## 【工業機材】

- ・事業をオーダーメイド品と汎用品に再編することで、効率的な事業体制を構築します。
- ・オーダーメイド品事業では、徹底した収支改善、増産体制の確立、販売拠点の整備等により、収益基盤を強化します。また、半導体、自動車の電動化等の成長領域における新技術・新商品の開発を進めます。
- ・汎用品事業では、経営基盤の効率化と製造・販売体制の再編により、収益力を強化します。また、成長領域への進出に向けた製造・開発・営業体制を構築し、経営資源の集中を図ります。

## 【セラミック・マテリアル】

- ・電子ペーストは、エレクトロニクス分野において、製品ラインナップの拡張と生産能力の増強によるシェアの拡大、新商品の開発を進めます。
- ・電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強による事業の拡大、成長領域における新商品の開発を進めます。
- ・事業の選択と集中、新商品・新事業の創出により、事業ポートフォリオの再構築を図ります。

## 【エンジニアリング】

- ・エネルギー、エレクトロニクス分野では、拡販とアフターサービス体制の強化により、シェアの拡大を図ります。自動車分野では、電動化に伴う新用途・新商品の開発を進めます。
- ・新しい分野（医薬、半導体、新素材）への参入と市場の開拓、環境分野での新用途・新商品の開発を強化します。

## 【食器】

- ・国内は、オンライン販売の強化とホテル・レストラン向けの拡販を進めると共に、流通販路・物流の再整備による経費削減を図ります。海外は、成長市場であるインド、中国、東南アジア等の主要国での拡販に取り組みます。

## 【設備投資金額】

設備投資 60億円 減価償却費 50億円

## (2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2022年 3月期	2023年3月期 業績予想				
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	573	295	300	595	22
	セラミック・マテリアル	407	230	230	460	53
	エンジニアリング	236	110	150	260	24
	食器	60	30	35	65	5
		1,276	665	715	1,380	104
営業利益	工業機材	30.6	12	13	25	△ 6
	セラミック・マテリアル	54.2	27	27	54	△ 0
	エンジニアリング	20.5	7	14	21	0
	食器	△ 11.8	△ 4	△ 1	△ 5	7
		93.5	42	53	95	1
経常利益		125.1	56	69	125	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益		90.7	42	53	95	4

(想定為替レート US\$=120円)